

障害者雇用の基本と採用のマッチング・ 自立や成長を視野に入れた定着について

企業（採用、現場）・当事者・支援者の視点から障害者雇用を考える

■日時 | 2021年9月2日(木)15:00～16:30 (14:45入室開始)

■参加費 | キャリアカレッジ会員：無料

一般：3,000円

(お申し込みフォームのご案内を必ずご覧ください)

■定員 | キャリアカレッジ会員：80名

一般：20名

企業のダイバーシティ経営の一角を成しているのが「障害者雇用」です。現在、日本では、障害者雇用促進法により民間企業の法定雇用率は2.3%と定められています。過去、10年を振り返ると雇用率は徐々に上がり、精神障害のある方も雇用義務の対象になり、就労支援サービスが徐々に整備され、障害のある方の働き方自体が多様になりつつあります。その結果、企業で働く障害のある方の数が増えてきました。今回は、障害者雇用の「数」ではなく「質」の部分を中心に採用や定着の話をも企業、当事者、支援者の視点から考えていきたいと思います。

■お申し込み方法 | 下記のサイトから、8月26日(木)までにお申し込みください。

<https://forms.gle/LTAiy5TANXTUjHMXA>

今回は、Zoomを利用した
オンラインイベントとなります。
お申し込み完了後、事務局より
ID・パスワードなどをメールにてお送りします。



※取材をご希望される方は、お申し込みの際、お伝え下さい。



■登壇者 田中佑樹 (たなか・ゆうき) 氏
一般社団法人障害者就労支援協会

1984年生まれ。大学卒業後、貿易会社に勤務。その後、大学院卒業。2012年一般社団法人障害者就労支援協会にて勤務を開始。全ての障害種別（精神、知的、身体、発達、高次脳など）の方の就労支援をする傍ら、障害者雇用を開始しようとしている企業に対して助言・サポートを実施。2019年一般社団法人自立学実践研究所を設立。障害のある方に関わる支援者・指導員の育成（プロフェッショナルサポーターの育成）、障害者雇用のコンサルタント、企業で働く障害のある方に向けた育成の研修を実施。

■ゲスト 竹島雄平 (たけしま・ゆうへい) 氏

1990年福島県生まれ。ADHD（注意欠如多動性障害）当事者。地元高校を卒業後都内某私立大学に進学するも、途中で自主退学。その後、アメリカの大学に進学し卒業。卒業後の就職先でADHDの生き辛さに直面。その後、数社への就職と起業を経て、コンフィデンス日本橋（就労移行支援事業所）に通所。現在、障害者雇用枠で都内某外資系企業にて勤務。同所の就労定着支援を受けながら継続就労中。

■企業 MSD株式会社 人事部門 齋藤 浩太 (さいとう・こうた) 氏
総務部門 立花 今日子 (たちばな・きょうこ) 氏

D&Iを推進している企業として人事、総務からの視点や事例も共有していただきます。



■司会・ファシリテーター

木下紫乃 氏

昭和女子大学キャリアカレッジアドバイザー/株式会社HIKIDASHI代表取締役

慶應義塾大学卒業後、㈱リクルート入社。システムエンジニア、広報を経て転職。2006年よりベンチャー系人材開発企業にて次世代経営者リーダー育成研修や、ダイバーシティ推進研修、管理職研修の設計など、大手企業中心に数百の企業研修の設計、運営に携わる。中高年のキャリアデザイン支援を目的として人材育成会社、株式会社ヒキダシを起業。